学術論文	<ul style="list-style-type: none">・論文（査読のあるもの。学会などの抄録などは除く）・本学学生が著者に含まれているものは赤字で記載・2007年以降（個別）と以前（2006年までの合計）を分けて記載
(論文)	<p>1 Kume M, Yasui H, Takahashi M, <u>Yamawaki C</u>, Higashiguchi K, Kobayashi Y, Kuroda D, Hirano T, Hirai M, Nakamura T.</p> <p>Perioperative change in platinum concentration in patients receiving cisplatin-based chemotherapy. <i>TDM 研究</i>, 30:142-148 (2013). (査読あり)</p> <p>2 <u>Yamawaki C</u>, Takahashi M, Takara K, Kume M, Hirai M, Yasui H, Nakamura T.</p> <p>Effect of dexamethasone on extracellular secretion of cystatin C in cancer cell lines. <i>Biomedical Reports</i>. 1: 115-118 (2013). (査読あり)</p>

著書	著書（2007年以降（個別）と以前（2006年までの合計）を分けて記載。）
(著書)	なし

<p>学会発表等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2007 年以降における招待講演演者やシンポジスト ・ 2007 年以降における国際学会（国内外での開催を問わない）のうち<u>発表者</u>であるもの（共同研究者の場合は除く） ・ 2007 年以降における<u>本学学生</u>が<u>発表者</u>となっている学会発表（学生が共同研究者の場合は除く）
<p>(学会発表)</p> <p>1</p> <p>2</p>	<p>日本薬剤学会第 27 年会 (2012) 「培養細胞におけるシスタチン C 分泌に及ぼすデキサメタゾンの影響」 <u>山脇知佳</u>、久米学、中村任他.</p> <p>第 6 回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム(2012) 「Effect of dexamethasone on extracellular secretion of cystain C in cancer cell lines.」 <u>Yamawaki C</u>, Kume M, Nakamura T, et al.</p>

助成金・特許	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年以降に交付された競争的資金（研究助成金の名称と種別、課題、交付年度、代表者・分担者の別） ・2007年以降の特許
(競争的資金)	<p>1 日本学術振興会 ひらめきときめきサイエンスようこそ大学の研究室へ KAKENHI 「GFPの「スゴさ」を体験～緑に光るクラゲのたんぱく質を使って実験！～」 2014年実施分担者</p> <p>2 姫路獨協大学 特別研究助成 「さらなる臨床応用に向けたシスタチンC濃度の変動メカニズムの解明」 2014年度研究分担者</p> <p>3 日本学術振興会 ひらめきときめきサイエンスようこそ大学の研究室へ KAKENHI 「GFPの「スゴさ」を体験～緑に光るクラゲのたんぱく質を使って実験！～」 2013年実施分担者</p> <p>4 姫路獨協大学 特別研究助成 「さらなる臨床応用に向けたシスタチンC濃度の変動メカニズムの解明」 2013年度研究分担者</p> <p>5 日本学術振興会 ひらめきときめきサイエンスようこそ大学の研究室へ KAKENHI 「GFPの「スゴさ」を体験～緑に光るクラゲのたんぱく質を使って実験！～」 2012年実施協力者</p>

<p>社会活動</p>	<p>2007年以降の社会における活動等（学会や公的機関の委員や役職など。ただし、学内や学園内の委員・役職などは除く） 2007年以降のその他の社会活動（教育機関や公的機関における講演依頼など）</p>
<p>(社会活動)</p>	<p>なし</p>

賞	2007年以降に受賞した賞
	なし